

要 求 書

賃組請負二十九條銀運官舎建築二申ニ徑事セシメ大工賃金八内拂ト
稱シテ日下米俵支拂ヲナシ且一期定支拂日ノヤミ不確實ニシテ生活上危シ
ク障目多ク米シテ元シテ次月三日又米俵支拂ノ要求即應答相必度

- 一 米運賃金一日不為リ金月々十ハラ支拂コト
- 一 管束ノ方金不為ラ即時大拂コト
- 一 一期定支拂日ハ以強ニシ限場ミラ支拂コト

昭和五年五月廿七日

鐵道官舎大工 經業員

相田組 殿

水打 兼松 (印)
外四丁二名

勞務第二〇一ニ號

昭和五年五月二十七日

總務總監 丸山 鶴 吉

5.7.1
1314

内務大臣 安達謙藏 殿
鐵道大臣 江木 翼 殿
社會局長 官 殿

十條鐵道官舎建築場ニ於ケル 下請負人對從業員紛議

ニ關スル件

(第二報—解決)

標記紛議ニ因シテハ既報ノ通ナルカ米俵從業員等ハ解決ヲ希望
シ居タルモ大工鐵組合員等介在シ賃金二月五十錢ヲ主張シ居テ
ルカ二十日當事者會見シ別記書ノ通以滿解決セルヨリ翌廿一
日夫々引揚ケタリ